

分離（湿式法による固体と固体の分離 B03B, B03D; 風力ジグまたは風力テーブルによるもの B03B; 他の乾式法によるもの B07; 磁気または静電気による分離, 高圧電界による分離 B03C; 遠心分離機 B04B; 渦装置 B04C; 液体含有物から液体を絞り出すためのプレスそれ自体 B30B9/02） [5]

注

(1) このサブクラスは以下のものを包含する:

— 蒸発, 蒸留, 晶析, ろ過, 粉末の沈降, 気体の洗浄, 吸収, 吸着;

— 吸収または吸着の場合を除いた, 分離に関係ないかまたはそれのみに制限されない類似の方法を含む。

(2) このサブクラスにおいては, 下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる:

— “ろ過” および類似した用語は流体から固体を濾すことを含む。ろ過とは, 通常, ろ過媒体を用いた処理である。;

— “ろ過媒体” は流体から固体をろ過するため用いられる多孔性物質または物質の多孔性配列である;

— “ろ過体” は媒体が取り外し自在にまたは永続的に取付けられる部品のほか, ろ過媒体の一部分であって, 媒体の他の部分, 末端のふた, 外周の枠または端近の細片を含む。ただし, ハウジングは除く; [5]

— “ろ過装置のハウジング” は流体を閉じこめる不浸透容器で, 開放または閉鎖を問わず, その内部に 1 つ以上のろ過体またはろ過媒体を含み, または含むために設けられるものである; [5]

— “ろ過室” はハウジング内の空間であり, ろ過体またはろ過媒体が入れられる。仕切りによって単一のハウジングが複数の室に分割されている; [5]

— “ろ過装置” はハウジングと組み合わせられたろ過体, 清掃装置, モーターまたは類似の部品からなり, それらは装置の特殊な型を特徴づけている。ポンプまたはバルブのような付属装置はろ過装置内部にあるときはその部品と考えられる。粉碎機, 混合機または非ろ過分離機のような類似または異なる単位操作を行なう付属装置は, ろ過装置内にあろうとなかろうと, その部品とは考えない。用語は例えば, ろ過機がその一部品にすぎない洗濯機のような装置にまでは及ばない。 [5]

(3) 乾燥または蒸発に用いる装置に関しては, クラス F26 が, このサブクラスに優先する。

(4) グループ B01D59/00 は, このサブクラスの他のグループおよびクラス B01 の他のサブクラスに優先する。

サブクラス内の索引

蒸発; 蒸留; 昇華 1/00; 3/00; 5/00; 7/00
コールドトラップ, コールドバップル 8/00
晶析 9/00
溶剤抽出 11/00
液体の処理: 置換, 吸着, 分離, 脱気, クロマトグラフィー 12/00, 15/00, 17/00, 19/00 [8]
ガスまたは蒸気の処理: 廃ガスの分離, 回収, 化学的または生物学的浄化 53/00
液体から懸濁粒子の分離
沈でんによるもの 21/00
ろ過によるもの
工程 37/00

重力ろ過機; ろ過体から構成されたるろ過機, 加圧または吸引ろ過機 24/00; 25/00, 29/00
カートリッジろ過機 27/00
可動ろ過体を有するろ過機 33/00
ろ過装置 35/00
ろ過系統または組み合わせ 36/00
他の工程によるもの 43/00
ガスまたは蒸気からの分散粒子の分離
ガスまたは蒸気の前処理 51/00
重力, 慣性, 遠心力によるもの; ろ過によるもの; 装置の組み合わせによるもの 45/00; 46/00; 50/00
他の方法によるもの 47/00, 49/00
ろ過材 39/00, 41/00
同位元素の分離 59/00
吸収, 吸着, クロマトグラフィー; その他の分離方法 15/00, 15/08, 53/02, 53/14; 57/00
半透膜を用いる分離; 透析, 浸透, 限外ろ過 61/00-71/00
1/00 蒸発（固体材料または物体から液体を除去することによる乾燥 F26B）
A 調節・制御
B プレート式
D 高粘度液体用
Z その他のもの
1/02 ・加熱コイルつき蒸発缶
1/04 ・水平管つき蒸発缶
1/06 ・垂直管つき蒸発缶
1/08 ・・短管を有するもの（B01D1/12 が優先）
1/10 ・・長管を有するもの, 例. ケスナー蒸発管（B01D1/12 が優先）
1/12 ・・そして強制循環のもの
1/14 ・液体と接触しうる加熱ガスあるいは蒸気を有するもの
A 回転円板によるもの
Z その他のもの
1/16 ・噴霧によるもの（B01D1/22 が優先）
1/18 ・・乾燥固体をうるためのもの（B01D1/24 が優先）
1/20 ・・噴霧装置
1/22 ・加熱表面に液体の薄層を接触させることによるもの
A 薄膜流下式
B 遠心薄膜式
C ・横型遠心薄膜式
D ・ブレードに特徴のあるもの
E ・臼型のもの
F 回転ドラムによるもの
Z その他のもの
1/24 ・・乾燥固体をうるためのもの
1/26 ・多重効用蒸発
A 堅型のもの
Z その他のもの
1/28 ・蒸気圧縮器を有するもの
1/30 ・蒸発缶の付属装置

B 0 1 D

A 気水分離器
Z その他のもの
3/00 蒸留またはそれに関連する液体がガス状媒質と接触するプロセス, 例. ストリッピング
 グ[2]
 A 特定物質に対するもの
 B 溶剤回収用
 C 化学実験用〔実験用蒸発器を含む〕
 Z その他のもの
3/02 ・ボイラーまたは蒸留器内でのもの[2]
3/04 ・パイプスチル
3/06 ・フラッシュ蒸留[2]
 A フラッシング部に特徴のあるもの
 Z その他のもの
3/08 ・回転容器内でのもの; 回転板への噴霧
 (B01D3/10 が優先)
3/10 ・真空蒸留 (B01D3/12 が優先) [2]
3/12 ・分子蒸留[2]
3/14 ・分留
 A 特定物質に対するもの
 Z その他のもの
3/16 ・・蒸気が液体中を沸泡して通る分留塔
 A 充填塔
 B 気泡発生装置
 Z その他のもの
3/18 ・・・水平バブルプレートを有するもの
 A 上下動するもの
 B 回転するもの
 C 固定されたもの
 D 細部
 Z その他のもの
3/20 ・・・・バブルキャップ; 蒸気用ライザー;
 液体用溢流管
3/22 ・・・水平多孔板または格子を有するもの;
 多孔板または格子の構造
 A 格子又はパイプトレー
 B ジェットトレー
 C リツプルトレー
 Z その他のもの
3/24 ・・・傾斜プレートまたは階段状に据えつ
 けられた構成体を有するもの
3/26 ・・蒸気と液体とが相互に流れる分留塔,
 または流体が蒸気中に噴霧される分留塔,
 または二相混合物が一方向に流れる分留
 塔
 A 充填材を含むもの
 Z その他のもの
3/28 ・・・表面接触および垂直ガイドを有する
 分留塔, 例. 薄膜操作
3/30 ・・可動部分を有するかまたは遠心力の働
 きによる分留塔
 A 横軸型
 Z その他のもの

3/32 ・・分留塔の他の特徴
 A 液分配器
 B 分留塔の組み立て
 C スペーサー
 D ダウンカマー
 Z その他のもの
3/34 ・一個またはそれ以上の添加物を用いるも
 の
3/36 ・・共沸蒸留
3/38 ・・水蒸気蒸留
3/40 ・・抽出蒸留
3/42 ・調節; 制御
5/00 蒸気の凝縮; 凝縮による揮発性溶剤の回収
 (B01D8/00 が優先; 凝縮器 F28B) [3]
 A 管状の凝縮器を用いるもの
 B 板状の凝縮器を用いるもの
 C バロメトリック・コンデンサーを用いるも
 の
 D 積層型凝縮器を用いるもの〔プレート式〕
 E 凝縮による溶剤回収
 Z その他のもの
7/00 昇華 (B01D8/00 が優先; 凍結乾燥 F26)
7/02 ・気相から直接の晶出 (単結晶 C30B23/00)
 [2]
8/00 コールドトラップ; コールドバップル[3]
 A 制御
 Z その他のもの
9/00 晶析 (気相から直接の晶出 B01D7/02; 単結
 晶の製造 C30B)
9/02 ・溶液からの晶析
601 ・・晶析物
601 A無機物
601 B・塩 (類)
601 C・・硫酸塩、硝酸塩、りん酸塩
601 D・水 (氷)
601 E・金属
601 F有機化合物
601 G・非環式化合物
601 H・炭素環式化合物
601 J・・単環式化合物
601 K・複素環式化合物
601 L・高分子化合物
601 M化合物として特定されないもの
601 N・鉱油系物質
601 Zその他
602 ・・晶析方式
602 A加熱蒸発晶析
602 B冷却晶析
602 C真空晶析
602 D高压晶析
602 E反応、第三物質の添加による晶析
602 F昇華、薄層接触、噴霧乾燥式晶析
602 Zその他

| | | | |
|-----|-------------------------|-------|---|
| 603 | ・装置の形式 | 625 | A温度 |
| 603 | A槽・塔形式 | 625 | B圧力 |
| 603 | B・攪拌式 | 625 | C容量、重量 |
| 603 | C・強制循環式 | 625 | D流量、流速 |
| 603 | D・外部循環式 | 625 | E濃度、粒度 |
| 603 | E・溶液循環型 | 625 | F時間 |
| 603 | F・DTB 型 | 625 | Zその他（フリーワード） |
| 603 | G横形式 | 9/04 | ・凍結した溶剤を除去することにより溶 液を濃縮するもの |
| 603 | H高压容器形式 | 11/00 | 溶剤抽出 |
| 603 | Zその他 | 11/02 | ・固体の溶剤抽出 |
| 604 | ・方法・操作に特徴あるもの | A | 抽出方法 |
| 605 | ・装置の構造に特徴あるもの | Z | その他のもの |
| 606 | ・処理液の前処理 | 101 | ・固定層式 |
| 607 | ・処理液の供給 | 102 | ・移動層式 |
| 607 | A分散供給 | 103 | ・分散接触式 |
| 607 | Zその他 | 11/04 | ・液体溶液の溶剤抽出 |
| 608 | ・晶析媒体、その添加 | A | 抽出方法 |
| 608 | A種晶、溶媒 | B | ・無機、放射性物質の抽出 |
| 608 | B反応物質、塩析剤 | C | ・有機物質の抽出 |
| 608 | Zその他 | D | 小型抽出器 |
| 609 | ・析出（部） | Z | その他のもの |
| 609 | A攪拌 | 101 | ・槽式 [例. ミキサセトラ] |
| 609 | Bドラフトチューブ、バツフル、棚段 | 102 | ・塔式 |
| 609 | Zその他 | 103 | ・遠心式 |
| 610 | ・処理液の蒸発、濃縮 | 12/00 | 液体の置換, 例. 湿潤固体, 液体の分散質ま たは液体中の固体から液体を他の液体に より置換すること |
| 610 | A蒸気の排除、循環 | 15/00 | 固体吸着剤による液体の処理を含む分離方 法; その装置 [4] |
| 610 | Zその他 | A | 吸着分離一般 |
| 611 | ・加熱、冷却、熱交換、熱媒体 | G | ・吸着剤の前処理, 再生 |
| 611 | A外側からの熱付与 | H | ・吸着剤充填, 排出方法 |
| 611 | B内側からの熱付与 | J | 非水性液体の処理 |
| 611 | C・熱媒体の直接接触 | K | ・有機化合物の吸着分離 |
| 611 | D排熱利用、熱の回収 | L | ・吸着脱水または乾燥 |
| 611 | Zその他 | M | 水性液体の処理 |
| 612 | ・加圧、減圧 | N | ・重金属成分の吸着分離 |
| 613 | ・外部循環液の抽出し、循環 | P | ・非重金属無機成分の吸着分離 |
| 614 | ・晶析物の掻取り、付着防止、取出し | Z | その他のもの |
| 615 | ・晶析物と母液との分離 | 101 | ・吸着剤を静置したもの |
| 615 | A濾過、遠心分離による | 101 | A疑似移動床 |
| 615 | Zその他 | 101 | Bエレメント; カートリッジ |
| 616 | ・非晶析物（母液）の処理 | 101 | Zその他のもの |
| 617 | ・晶析物の処理 | 15/02 | ・移動吸着剤によるもの |
| 618 | ・晶析における操作の系統、順序 | 101 | ・移動床法によるもの |
| 618 | A多段晶析、分別晶析 | 102 | ・吸着剤を分散状態にしたもの |
| 618 | B回分操作 | 103 | ・流動層技術によるもの |
| 618 | Zその他 | 15/04 | ・吸着剤としてイオン交換剤を用いるもの (B01D15/36 が優先) [1, 8] |
| 619 | ・他処理工程との組合せ | 15/08 | ・選択的吸着, 例. クロマトグラフィー |
| 619 | A化学反応工程を含むもの | 注 | |
| 619 | Zその他 | | ・グループ 15/08 が, クロマトグラフィー一般に関する完全な |
| 620 | ・制御、検出、測定 | | |
| 621 | ・付属機器、付帯操作 | | |
| 622 | ・装置の全体配置、組立、材質 | | |
| 625 | ・制御、検出、数値（条件）限定等の対 象 | | |

B 0 1 D

サーチをするための基礎を提供するために、全ての重要な主題事項が、それが主に応用指向箇所に分類されたとしてもなお、このグループに分類する。例えば、乳製品 A23C9/148、血液の処理、例. A61M1/36、光学活性有機化合物 C07B57/00 またはペプチド C07K1/16[8]

- 15/10 ・ ・ 構造上または操作上の特性に特徴があるもの[8]
- 15/12 ・ ・ ・ 供給液の調製に関するもの[8]
- 15/14 ・ ・ ・ 装置への供給液の導入に関するもの[8]
- 15/16 ・ ・ ・ 流体キャリアの調節に関するもの[8]
- 15/18 ・ ・ ・ フローパターンに関するもの[8]
- 15/20 ・ ・ ・ 吸着剤の調節に関するもの[8]
- 15/22 ・ ・ ・ カラムの構造に関するもの[8]
- 15/24 ・ ・ ・ 分配されたフラクションの処理に関するもの[8]
- 15/26 ・ ・ 分離機構に特徴があるもの[8]
- 15/30 ・ ・ ・ 分配クロマトグラフィー[8]
- 15/32 ・ ・ ・ 結合相クロマトグラフィー、例. 通常の結合相、逆相または疎水性相互作用を伴うもの[8]
- 15/34 ・ ・ ・ サイズ選択的分離、例. サイズ排除クロマトグラフィー;ゲルろ過;浸透[8]
- 15/36 ・ ・ ・ イオン相互作用を含むもの、例. イオン交換、イオン対、イオン抑制またはイオン排除[8]
- 15/38 ・ ・ ・ グループ B01D15/30-B01D15/36 のうち 1 以上のグループに包含されない特定の相互作用を含むもの、例. 親和性、配位子交換またはキラルクロマトグラフィー[8]
- 15/40 ・ ・ ・ 移動相または溶離剤として超臨界流体を用いているもの[8]
- 15/42 ・ ・ 展開モードに、例. 置換または溶離に、特徴があるもの[8]
- 17/00 他に適当な分類のない液体の分離、例. 熱拡散によるもの
 - 501 ・ 半透膜によるもの
 - 501 A 処理操作
 - 501 B 膜の形状
 - 501 C 膜の材質
 - 501 D 装置の全体構造
 - 501 Z その他
 - 502 ・ 機械的振動によるもの
 - 503 ・ 分離システムの組合せ
 - 503 A 比重差分離を含むもの
 - 503 B ・ エマルジョン分解を含むもの
 - 503 C 比重差分離を含まないもの
 - 503 D ・ 吸着処理によるもの
 - 503 Z その他
- 17/02 ・ 非混合性液体の分離
 - 501 ・ ・ 燃料油浄化
 - 501 A 接触部の構造

- 501 B ・ 堅型
- 501 C ・ 横型
- 501 D 接触材の構造
- 501 E 接触材の材質
- 501 Z その他
- 502 ・ ・ ・ 浮子弁
- 502 A 上部開閉弁
- 502 B 下部開閉弁
- 502 C 上部下部連動開閉弁
- 502 D 上部下部独立開閉弁
- 502 E 界面検知器を備えたもの
- 502 Z その他
- 503 ・ ・ ・ フィルタ
- 17/022 ・ ・ 選択的ぬれ付着能をもつ固体との接触によるもの[4]
 - 501 ・ ・ ・ フィルタ
 - 502 ・ ・ ・ 撥水膜、撥油膜
 - 502 A 撥水膜
 - 502 B ・ 形状
 - 502 C ・ 材質
 - 502 D ・ 装置の全体構造
 - 502 E 撥油膜
 - 502 F ・ 形状
 - 502 G ・ 材質
 - 502 H ・ 装置の全体構造
 - 502 Z その他
 - 503 ・ ・ ・ 分散粒子によるもの
- 17/025 ・ ・ 重力によるもの、沈でん槽内におけるもの[4]
 - 501 ・ ・ ・ 塔型
 - 501 A 多段に区画
 - 501 B ・ 平板による
 - 501 C ・ 円錐板による
 - 501 D ・ 逆円錐板による
 - 501 Z その他
 - 502 ・ ・ ・ 槽型
 - 502 A 上部流路
 - 502 B 下部流路
 - 502 C 側部流路
 - 502 D 流路の組合せ
 - 502 Z その他
 - 503 ・ ・ ・ 板体に透孔を有するもの
 - 504 ・ ・ ・ 装置の全体構造
- 17/028 ・ ・ ・ 邪魔板を有するもの[4]
 - A 平板
 - B 波板
 - C 折曲板
 - D 異なる邪魔板の組合せ
 - E 多孔を有するもの
 - Z その他
- 17/032 ・ ・ ・ 分離された液体の少くとも一つを取り除くための特別な装置を有するもの[4]

- 501 排出量調節
- 501 A越流堰上による
- 501 B排出弁による
- 501 Zその他
- 502 排出部の位置調節
- 502 A軽液の
- 502 B重液の
- 502 Zその他
- 17/035 . . 気泡の使用又は混合物中に導入された
固体を移動させることによるもの[4]
 - A 常圧浮上
 - B 加圧浮上
 - Z その他
- 17/038 . . 遠心力によるもの（遠心分離機 B04B；
サイクロン B04C）[4]
- 17/04 . . エマルジョン分解
 - 501 . . . 固体との接触によるエマルジョン分
解
 - 501 A濾過・吸着
 - 501 B親油性接触材
 - 501 C親水性接触材
 - 501 Dフィルタによるもの
 - 501 E・多孔平板
 - 501 F・多孔円筒
 - 501 G・網又は網ブロック
 - 501 H充填材との接触によるもの
 - 501 J・粉粒状
 - 501 K・不定形繊維
 - 501 L装置の全体構造
 - 501 Zその他
 - 502 . . . 平行板・管束による粗粒化
 - 502 A平板
 - 502 B波板
 - 502 C折曲板
 - 502 D異なる板体の組合せ
 - 502 E管束
 - 502 F・円管
 - 502 G・ハニカム
 - 502 H多孔を有するもの
 - 502 Zその他
 - 503 . . . 加熱によるエマルジョン分解
 - 503 A蒸発を伴うもの
 - 503 B粘性調節
 - 503 Zその他
 - 504 . . . 用いる素材に特徴を有するもの
 - 504 A無機物
 - 504 B・金属
 - 504 C・鉱物又は金属酸化物
 - 504 D・ガラス
 - 504 E有機物
 - 504 F・繊維状
 - 504 G・粉粒状
 - 504 H・担体を有機化合物で被覆したもの
- 504 Zその他
- 17/05 . . . 化学的处理によるもの[4]
 - 501 薬剤の添加
 - 501 A無機物
 - 501 B・鉱物
 - 501 C・金属化合物
 - 501 D・金属酸化物
 - 501 E・アルカリ金属塩
 - 501 F・アルカリ土類金属塩
 - 501 G有機物
 - 501 H・有機酸又はその塩
 - 501 J・低分子アミン
 - 501 K・有機高分子化合物
 - 501 L・ポリアミン又はポリアミド
 - 501 M・ポリエーテル
 - 501 N・ポリフルオロ化合物
 - 501 Zその他
- 17/06 . 電気による液体相互の分離
 - 501 . . 電気分解による分離
 - 501 A油中水の除去
 - 501 Bエマルジョン分解
 - 501 Zその他
 - 502 . . 電気分解以外のその他
 - 502 A静電分離
 - 502 B・エマルジョン分解
 - 502 C磁界によるもの
 - 502 D・磁性流体を用いるもの
 - 502 Zその他
- 17/09 . 熱拡散によるもの[4]
- 17/12 . 液体分離装置に用いるために特別に適合
する付属装置, 例. 制御回路[4]
 - A 濃度検知
 - B 界面検知
 - C 流量制御
 - Z その他のもの
- 19/00 液体の脱気
 - A 噴霧によるもの
 - B 比重差によるもの
 - C 超音波によるもの
 - D 加熱によるもの
 - E 流下によるもの
 - F ストリッピングによるもの
 - G 濾過によるもの
 - H . 膜によるもの
 - J 蒸気接触によるもの
 - Z その他のもの
 - 101 . 真空によるもの
 - 102 . 遠心力によるもの
- 19/02 . 泡の消散または防止
- 19/04 . 化学物質の添加によるもの
 - A 含ケイ素化合物を成分としてもつもの
 - B 含ケイ素化合物を成分としてもたないもの
 - Z その他のもの

B O 1 D

| | | | |
|-------|--|-------|--|
| 21/00 | 沈でんによる液体から懸濁固体粒子の分離 (差別沈降 B03D3/00) | B | ・昇降、揺動 |
| A | プロセス, 付属装置 | C | ・隅部搔寄機構をもつ |
| B | ・他処理との組合せ | D | ・周辺駆動式 |
| C | ・・濾過工程をもつ | Z | その他のもの |
| D | ・・生物処理工程をもつ | 21/08 | ・・凝集室のあるもの |
| G | ・付属装置 | A | 凝集沈澱 |
| Z | その他のもの | B | ・凝集部を内部中央にもつ |
| 21/01 | ・凝集剤を用いるもの[2] | C | ・・スラリプランケット型 |
| A | 凝集 | D | ・・スラリ循環型 |
| B | ・剤の溶解、添加 | E | ・凝集部を内部側面にもつ |
| C | ・混合、攪拌 | F | ・凝集部を外部にもつ |
| D | ・・可動攪拌機をもつ | Z | その他のもの |
| G | ・管路又は流下式 | 21/18 | ・搔取機の構造または沈でん槽の運転機構 |
| H | ・多段 | A | 部材に特徴のあるもの |
| Z | その他のもの | B | 傾斜壁面を搔寄、搔揚げる構造のもの |
| 101 | ・・凝集剤の選択 | F | 搔寄機構 |
| 101 A | A形態又は物理的性質に特徴があるもの | G | ・チェンフライト型 |
| 101 B | B生物学的処理によるもの | H | ・・昇降、揺動 |
| 101 Z | Zその他のもの | J | ・ミーダ型 |
| 102 | ・・・無機化合物凝集剤 | D | ・水中走行台車型 |
| 103 | ・・・有機化合物凝集剤 | K | ・流体噴射型, その他の型 |
| 104 | ・・・・低分子化合物 | M | 搔揚機構 |
| 105 | ・・・・高分子化合物 | N | ・ダブルチェンバケット型 |
| 106 | ・・・・・N を含まないもの | P | ・バケットエレベータ型 |
| 107 | ・・・・・N を含むもの | Q | ・その他の型 |
| 107 A | Aカチオン性高分子凝集剤 | R | ・台車走行 |
| 107 B | Bアニオン性高分子凝集剤 | S | ・昇降、揺動 |
| 107 Z | Zその他のもの | T | ・揚出後の処理 |
| 108 | ・・・上記 102-107 の物質を組み合わせた 凝集剤 | Z | その他のもの |
| 109 | ・・・・低分子有機化合物と他の化合物 | 21/20 | ・・運転機構 |
| 110 | ・・・・高分子有機化合物と他の化合物 | 21/22 | ・・安全機構 |
| 111 | ・・・・・N を含む高分子化合物と他の化 合物 | 21/24 | ・沈でん槽の供給または排出機構 |
| 21/02 | ・沈でん槽[4] | D | 供給機構 |
| C | 傾斜板又は同様な要素をもつ沈澱 | F | 沈澱物の排出 |
| D | ・円錐板、螺旋板をもつ沈澱装置 | G | ・集泥部 |
| E | ・傾斜板をもつ沈澱装置 | H | ・排出機構 |
| F | ・・板(群)の形状、組立 | J | ・・閉塞防止 |
| G | ・・板(群)が可動 | K | ・・排出容器式 |
| H | ・・板の浄化 | M | ・・吸揚式 |
| J | ・・整流板、偏流板、阻粒板をもつ | N | ・・・サイホン, 水頭圧による |
| M | 沈澱(傾斜板を持たないもの) | P | ・・・吸込口が可動 |
| N | ・沈澱装置 | B | ・・・スクリー式 |
| P | ・・多室 | Q | ・排出後の処理 |
| Q | ・・濾過部をもつもの | R | ・・返送 |
| R | ・・他処理部を併設 | S | 上澄水の流出 |
| S | ・・整流板、偏流板、阻流板をもつ | T | ・上澄液, スカムの流出 |
| Z | その他のもの | U | ・・トラフ, 流出口が可動 |
| 21/04 | ・・移動搔取機をもつもの | V | ・・スカムの流出又は阻止 |
| 21/06 | ・・・回転搔取機をもつもの | W | ・流出後の処理 |
| A | 回転搔寄型 | Z | その他のもの |
| | | 21/26 | ・遠心力の補助による沈でん分離 |
| | | 21/28 | ・沈でん作用を促進するための機械的付属 装置, 例. 振動装置又は同様な装置[4] |

| | | | |
|-------|---------------------------------------|-------|---|
| A | 振動, [超] 音波装置 | | ろ過機 |
| Z | 電気, 磁気装置, その他のもの | 25/02 | ・ろ過体があらかじめ独立して作られたろ過ユニットであるところのもの |
| 21/30 | ・制御機器[4] | 25/04 | ・スクリーンまたはシートを有するもの, 例. 布, 紙 (25/12 が優先) |
| E | 制御 | 25/06 | ・不定形の粒状または繊維状のろ過材を有するもの |
| A | ・凝集処理の制御 | 25/08 | ・剛性の自己支持ろ過体を有するもの |
| F | ・沈澱槽の供給の制御 | 25/10 | ・懸濁粒子がろ過材を形成するもの |
| G | ・沈澱槽の流出、排出の制御 | 25/12 | ・フィルタープレス, すなわちろ板形またはろ板およびろ枠形のもの |
| H | ・時間 | | |
| J | ・レベル | A | 圧搾ろ過 |
| K | ・濃度 | B | ろ布の展張 |
| Z | その他のもの | C | ろ滓除去 |
| 21/32 | ・清澄水および沈でん物の濃度制御, 例. 光学的制御[4] | D | 洗浄部材 |
| 21/34 | ・供給分配の調節; 液体レベルの調節[4] | E | 振動部材 |
| 23/00 | 重力ろ過機 (運動するろ過体を有するもの, 33/18) | F | 液路部 |
| A | システム | G | 制御, 検知 |
| B | スラッジ | H | ろ枠 |
| Z | その他のもの | J | ろ布部分, ろ布取付部分 |
| 23/02 | ・固定ろ過体を有するもの | K | 漏液, ろ滓受け |
| A | スクリーン | L | 区分式 |
| B | ちりよけ格子 | M | ろ材充填 |
| C | 流し台用ろ過 | P | 加熱, 冷却 |
| Z | その他のもの | Q | ろ液検査 |
| 23/04 | ・内側からこする過袋を有するもの | S | 回転式 |
| 23/06 | ・固定した管状体を有するもの | T | 空気抜き |
| 23/08 | ・台ざら状ろ過体を有するもの | U | 方法に特徴を有するもの |
| 23/10 | ・不定形ろ過材を有するもの | Z | その他のもの |
| A | ろ材の構成に特徴のあるもの | 101 | ・ろ板の構造 |
| B | 流路に特徴のあるもの | 101 A | 縦型 [軸線が垂直] |
| C | 上向流 | 101 B | ろ板が軸と垂直方向に移動 [回転] するもの |
| D | ろ材の交換 | 101 Z | その他のもの |
| Z | その他のもの | | |
| 23/12 | ・よろい張面で支持されたろ過材を有するもの | 25/14 | ・締付手段 |
| 23/14 | ・炭素ろ過機 | 25/15 | ・ろ板を開く手段 |
| 23/16 | ・砂または砂利ろ過機 | 25/22 | ・セル形ろ過機 |
| 23/18 | ・ろ過床の底部 | 25/24 | ・セル形回転ろ過機 |
| 23/20 | ・供給または排出機構 (ノズル B05B) | 25/26 | ・セル形積層ろ過機 |
| 23/24 | ・ろ過機中でのろ過材の再生 | 25/28 | ・ろ過機でのろ過ケーキの溶解または洗浄 |
| A | 空気洗浄 | 25/30 | ・供給装置 |
| B | 表面洗浄 | 25/32 | ・ろ過ケーキの除去 |
| C | ろ材の機械的攪拌 | 25/34 | ・ろ過体の運動によるもの |
| D | サイフォン | 25/36 | ・遠心力によるもの |
| Z | その他のもの | 25/38 | ・静止ろ過体に接触する運動部材, 例. 掻取装置, によるもの |
| 23/26 | ・ろ過操作を制御する装置と一体に組み合わされているもの | 27/00 | カートリッジろ過機 |
| A | バルブ | 27/02 | ・不定形素材から作られたカートリッジを有するもの |
| Z | その他のもの | 27/04 | ・種類の材質から作られたカートリッジを有するもの, 例. ろ紙 |
| 23/28 | ・ろ過じょうご; そのための支持器 (じょうご一般 B67C) | 27/06 | ・折り目または波形を有するもの |
| 25/00 | 複数のろ過体またはその種のろ過体からなるろ過要素をいくつか締結して構成した | 27/08 | ・ケーシングの構造 |

B O 1 D

- 27/10 ・安全装置, 例. バイパス (バイパス一般 35/14)
- 27/12 ・再生
- 29/00 ろ過操作の間静止しているろ過体を有する, その他の加圧または吸引ろ過機
 - A 空気抜き手段
 - B 攪拌手段
 - C 加熱または冷却手段
 - D 検査または検知手段
 - E 殺菌手段
 - Z その他のもの
- 29/02 ・ろ過体がろ過操作とろ過操作の間運動するもの
 - A 縦方向または斜め方向運動型
 - B ・有端ろ過体
 - C ・無端ろ過体
 - D 横方向運動型
 - E ・有端ろ過体
 - F ・無端ろ過体
 - G 回転運動型
 - Z その他のもの
- 29/04 ・スクリーンまたはシートを有するもの, 例. 布, 紙
 - 510 ・・スクリーン・シート状ろ過体の構造
 - 510 A縦型または傾斜型
 - 510 B横型
 - 510 C金属性ろ過材
 - 510 D非金属性ろ過材
 - 510 E織つたもの
 - 510 F織らないもの
 - 510 Zその他のもの
 - 520 ・・スクリーン、シートろ過体使用機付属手段
 - 520 A流体噴射手段
 - 520 B逆洗手段
 - 520 C振動手段
 - 520 D搔落し手段
 - 520 E攪拌手段
 - 520 F加熱または冷却手段
 - 520 Zその他のもの
 - 530 ・・スクリーン、シートろ過体使用機の用途
 - 530 A液体処理用
 - 530 B・オイル浄化用
 - 530 C・製紙用
 - 530 D泥状物の脱水用
 - 530 Zその他のもの
- 29/06 ・・しわ, 波形, または巻回されたシートを有するもの
 - 510 ・・・しわ、波形シート型を使用するろ過体の構造
 - 510 A縦型または傾斜型
 - 510 B横型

- 510 C中心管状有孔支持体のあるもの
- 510 D・一層式
- 510 E・複数層式
- 510 F中心管状有孔支持体のないもの
- 510 Zその他のもの
- 520 ・・・巻回されたシートを使用するろ過体の構造
 - 520 A波形状シートを用いるもの
 - 520 B波形状シートを用いないもの
 - 520 C金属性ろ過材
 - 520 D非金属性ろ過材
 - 520 E織つたもの
 - 520 F織らないもの
 - 520 Zその他のもの
- 29/08 ・不定形の粒状または繊維状のろ過材を有するもの
 - 510 ・・流動層ろ過機の構造
 - 510 A上向流型
 - 510 B下向流型
 - 510 C水平方向流型
 - 510 D向流型
 - 510 E並流型
 - 510 F交差流型
 - 510 Zその他のもの
 - 520 ・・不定型粒状、繊維状ろ過材の形態
 - 520 A粒状ろ過材
 - 520 B・浮上ろ過材
 - 520 C繊維状ろ過材
 - 520 Zその他のもの
 - 530 ・・不定形粒状、繊維状ろ過材使用ろ過機の構造
 - 530 A中心管状有孔支持体のあるもの
 - 530 B中心管状有孔支持体のないもの
 - 530 C・上向流型
 - 530 D・下向流型
 - 530 E・水平方向流型
 - 530 F・屈曲流型
 - 530 Zその他のもの
 - 540 ・・不定形粒状繊維状ろ過材使用ろ過機の用途
 - 540 A液体処理用
 - 540 B・オイル浄化用
 - 540 C泥状物の脱水用
 - 540 Zその他のもの
- 29/10 ・バッグ, カゴ, ホース, 管, スリーブあるいはこれと類似するろ過体
 - 501 ・・ろ過体取付構造
 - 501 Aねじ込み型
 - 501 Bばねによる押圧型
 - 501 C嵌合型
 - 501 Zその他のもの
 - 510 ・・ろ過体の構造
 - 510 Aバッグ状ろ過体

- 510 Bカゴ状ろ過体
- 510 C筒状ろ過体
- 510 D・金属性ろ過材
- 510 E・非金属性ろ過材
- 510 F・織つたもの
- 510 G・織らないもの
- 510 Zその他のもの
- 520 ・・ろ過機の付属手段
- 520 A流体噴射手段
- 520 B逆洗手段
- 520 C掻落し手段
- 520 D攪拌手段
- 520 E加熱, 冷却手段
- 520 Zその他のもの
- 530 ・・ろ過機の用途
- 530 A液体処理用
- 530 B・オイル浄化用
- 530 C・溶剤回収用
- 530 D泥状物の脱水用
- 530 Zその他のもの
- 29/12 ・・柔軟性のあるろ過材を有するもの
 - A バッグ状ろ過体
 - B 筒状ろ過体
 - C ・弾性支持体のあるもの
 - D ・弾性支持体のないもの
 - E 盤状ろ過体
 - Z その他のもの
- 29/14 ・・・支持されているもの
 - A バッグ状ろ過体
 - B 筒状ろ過体
 - C ・弾性支持体のあるもの
 - D ・弾性支持体のないもの
 - E 盤状ろ過体
 - Z その他のもの
- 29/16 ・・・・表面みぞおよびこれに類するものを固定枠上に取りつけたもの
- 29/18 ・・・・ろ過中コンチェルティナ形にするもの
- 29/24 ・・多数のろ過体を有するもの
 - A 縦型, 傾斜型
 - B ・筒状ろ過体
 - C ・・両端支持型
 - D ・・一端支持型
 - E ・・・上端支持型
 - F ・・・下端支持型
 - G ・非筒状ろ過体
 - H 横型
 - J ・筒状ろ過体
 - K ・・両端支持型
 - L ・・一端支持型
 - M ・非筒状ろ過体
 - Z その他のもの
- 29/26 ・・・同心または同軸に配列されたもの
 - A 円筒状ろ過体
 - B ・縦型, 傾斜型
 - C ・横型
 - Z その他のもの
- 29/28 ・・振動されるもの
- 29/30 ・・末端の開放されているもの
 - 501 ・・・回転翼を用いるもの
 - 510 ・・・パルプ用スクリーン
 - 510 A縦型, 傾斜型
 - 510 B横型
 - 510 Zその他のもの
 - 520 ・・・一般末端開放型
 - 520 A縦型, 傾斜型
 - 520 B横型
 - 520 Zその他のもの
- 29/32 ・・フィルターキャンドル;剛性の自己支持ろ過材を有するろ過体
 - A 縦型, 傾斜型
 - B 横型
 - Z その他のもの
- 29/34 ・一本あるいはそれ以上の管の管上または周囲に並設された中空円盤を有するもの
 - 501 ・・葉状縦型
 - 501 A両面型
 - 501 B・両面平行型
 - 501 C・・ろ過面支持体のあるもの
 - 501 D・・ろ過面支持体のないもの
 - 501 E・両面非平行型
 - 501 F一面型
 - 501 G・上面型
 - 501 H・下面型
 - 501 Zその他のもの
 - 510 ・・葉状横型
 - 510 A中心管支持型
 - 510 B・両面型
 - 510 C・・両面平行型
 - 510 D・・両面非平行型
 - 510 E・一面型
 - 510 F容器支持型
 - 510 Zその他のもの
 - 520 ・・ろ葉に特徴のあるもの
 - 520 Aろ葉の中空軸への取付け部
 - 520 Bろ葉の周縁部
 - 520 Cろ過部
 - 520 Zその他のもの
 - 530 ・・葉状ろ過機一般
 - 530 Aろ過材の再生
 - 530 Bろ過材の交換
 - 530 Zその他のもの
- 29/36 ・ろ過を制御するための装置と一体に組み合されているもの
 - A 流路内の流量調節
 - B 流路切換え

B O 1 D

| | | | |
|-------|-----------------------|---------------|----------------------------------|
| C | ・単一ろ過体内での流路切換 | 580 Jろ過機の転動手段 | |
| D | ・複数ろ過体間での流路切換 | 580 Zその他のもの | |
| E | ・回転型弁を使うもの | 29/40 | ・遠心力によるもの |
| F | ・非回転型弁を使うもの | 29/42 | ・供給または排出装置を有するもの |
| Z | その他のもの | 501 | ・原液供給部 |
| 29/38 | ・ろ過機中におけるろ過材の再生 | 501 | Aスクリーン, シート状ろ過体用 |
| 501 | ・逆洗 | 501 | B粒, 繊維状ろ過材製ろ過体用 |
| 510 | ・逆洗対象ろ過体の構造 | 501 | Cバツグ状, カゴ状, 筒状ろ過体用 |
| 510 | Aスクリーン, シート状ろ過体 | 501 | D葉状ろ過体用 |
| 510 | B粒, 繊維状ろ過材製ろ過体 | 501 | E端辺ろ過体用 |
| 510 | Cバツグ状, カゴ状, 筒状ろ過体 | 501 | Zその他のもの |
| 510 | D端辺ろ過体 | 510 | ・ろ液流出部 |
| 510 | Zその他のもの | 520 | ・ろ滓除去部 |
| 520 | ・ろ過材再生手段 | 29/44 | ・端辺ろ過体, すなわち隣接する非透過性表面を有するもの |
| 520 | A逆洗手段のみ | 29/46 | ・平坦なものを積み重ねたろ過体 |
| 520 | B逆洗と他の手段との組合せ | A | 縦型, 傾斜型 |
| 520 | C・流体噴射手段 | B | 横型 |
| 520 | D・振動手段 | C | 盤状リング型 |
| 520 | E・搔落し手段 | D | 非盤状リング型 |
| 520 | Zその他のもの | E | 金属性ろ過材 |
| 530 | ・多数のろ過体の逆洗 | F | 非金属性ろ過材 |
| 530 | A逆洗手段のみ | Z | その他のもの |
| 530 | B逆洗と他の手段との組合せ | 29/48 | ・渦巻状または螺旋状にまかれたろ過体 |
| 530 | C・流体噴射手段 | A | 縦型, 傾斜型 |
| 530 | D・振動手段 | B | ・断面非円形材を巻いたもの |
| 530 | E・搔落し手段 | C | 横型 |
| 530 | Zその他のもの | D | ・断面非円形材を巻いたもの |
| 540 | ・ガスによる逆洗 | Z | その他のもの |
| 550 | ・ブラシまたはスクレーパーによる搔落し | 33/00 | ろ過操作中運動するろ過体を有するろ過機 (遠心ろ過機 B04B) |
| 550 | A縦型, 傾斜型ろ過体用 | A | 連続ろ過 |
| 550 | B横型ろ過体用 | B | 回転円盤ろ過素子 |
| 550 | Cブラシ型 | C | レーキ型脱水機 |
| 550 | D非ブラシ型 | D | 水路中のろ過器 |
| 550 | E吸引か流体噴射手段のあるもの | Z | その他のもの |
| 550 | Zその他のもの | 33/02 | ・旋回ろ過表面を有するもの |
| 560 | ・スクリーンまたはシートを有するものの逆洗 | 33/04 | ・非ろ過円筒上に支持されているろ過帯またはその類似物を有するもの |
| 570 | ・葉状ろ材の再生 | A | 重力によるもの |
| 570 | A流体噴射手段 | B | 吸引によるもの |
| 570 | B逆洗手段 | C | 圧搾によるもの |
| 570 | C振動手段 | D | ・圧搾ベルト |
| 570 | D搔落し手段 | E | ・円筒状圧搾ろ過 |
| 570 | Zその他のもの | F | ベルト水没型 |
| 580 | ・特殊なろ過体再生手段 | Z | その他のもの |
| 580 | A流体噴射手段 | 33/06 | ・円筒状ろ過表面を有するもの, 例. 中空ドラム |
| 580 | B逆洗手段 | A | 外周面によるろ過 |
| 580 | C振動手段 | B | 吸引によるもの |
| 580 | D搔落し手段 | C | 圧搾によるもの |
| 580 | Eろ過体支持体の開閉手段 | D | 縦型回転円筒ろ過 |
| 580 | Fろ過体周辺液体の強制流動手段 | E | 回転円筒型プレコートろ過機 |
| 580 | G電気的手段 | | |
| 580 | Hろ過体の変形手段 | | |

| | | | |
|-------|---|-------|--|
| F | ろ布取付部分 | 35/06 | ・電気または磁気を利用するろ過機（限外ろ過, 精密ろ過 61/14; 電気透析, 電気浸透 61/42; ろ過機および磁気分離装置からなる装置 B03C1/30) |
| Z | その他のもの | A | 強磁性ろ材によるもの |
| 33/08 | ・・・・圧力分配器と結びついて各々独立した室を備えているドラム | H | ・高勾配磁気分離装置（HGMS) |
| 33/10 | ・・・・1 個の室を有するドラム | J | ・・・・マトリクスに特徴のあるもの（材料、形状等) |
| 33/12 | ・・・・ろ過帯またはその類似物と結合されているもの | K | ・・・・マトリクスが動くもの |
| 33/14 | ・・・・無端ろ過帯を有するもの | L | ・・・・磁気回路に特徴のあるもの |
| 33/16 | ・・・・不定形, 粒状または繊維状のろ過材を有するもの | M | ・・・・マトリクスの洗浄に特徴のあるもの |
| 33/18 | ・・・・重力ろ過機 | B | 粒状磁性ろ材によるもの |
| A | 円筒内面型 | C | リング状磁石によるもの |
| Z | その他のもの | D | メカニカルフィルターを付加したもの |
| 33/20 | ・・・・外部供給式のもの | E | フィルターに磁石粉末を添加したもの |
| 33/22 | ・・・・平らな表面を有するもの | F | 超音波によるもの |
| 33/24 | ・・・・回転盤を有するもの | G | 電気によるもの〔数 100V まで, 高圧→ B03C5/00〕 |
| 33/26 | ・・・・中空軸上に軸を横切るようにすえ付けられた中空円盤を有するもの | N | ・電気浸透脱水装置 |
| 33/28 | ・・・・中空軸の軸方向にすえ付けられた中空棒体を有するもの | P | ・・・・ドラム型のもの |
| 33/30 | ・・・・不定形, 粒状または繊維状のろ過材を有するもの | Q | ・・・・ベルト型のもの |
| 33/32 | ・・・・コンベヤーに沿って移動するろ過表面を有するもの | R | ・・・・垂直な濾板間で圧搾するもの |
| 33/34 | ・付属装置 | S | ・・・・給電機構に特徴のあるもの |
| 33/36 | ・・・・フィルターケーキを処理するための装置 | T | ・・・・電極に特徴のあるもの |
| 33/38 | ・・・・液体の供給または排出装置 | Z | その他のもの |
| 33/40 | ・・・・圧力分配方式 | 35/08 | ・傾けるバケットまたはトレイを有するろ過機 |
| 35/00 | その他のろ過装置; ろ過操作のための付属装置（ろ過材 39/00; 気体をろ過するために用いられる特殊な装置 46/00) | 35/10 | ・ブラッシ・フィルター |
| 35/02 | ・特殊な場所に設置するために適合したろ過機, 例. パイプライン, ポンプ, ストップコック | 35/12 | ・多数ユニットからなるろ過機の 1 つ以上のユニットの運転を休止させる装置, 例. 再生のための取り替え |
| A | パイプライン用 | 35/14 | ・ろ過に特に適した安全装置（火災または爆発の防止 A62C）; 閉塞指示装置 |
| B | ポンプ用 | 101 | ・・・・バイパス |
| M | ・流入口, 排出口用 | 102 | ・・・・閉塞指示装置 |
| C | 漁槽用 | 35/16 | ・清掃装置 |
| G | 池用 | 35/18 | ・ろ過装置の加熱または冷却 |
| D | 浴槽内用 | 35/20 | ・ろ過装置の振動 |
| H | ・手動型 | 35/22 | ・ろ過装置を清浄にするために被ろ過混合物をろ過装置に向けて投射するもの |
| J | 風呂用 | 35/24 | ・不定形の粒子でフィルターを清掃するもの |
| E | 油, 燃料用 | 35/26 | ・組入れポンプを有するろ過装置 |
| F | 槽内設置用 | 35/28 | ・他に分類されないストレーナー |
| K | 携帯用 | 35/30 | ・ろ過装置のハウジング構造 |
| L | プラスチック成形用 | 36/00 | ろ過系統またはろ過装置と他の分離装置との組み合わせ（ガス除去用装置, 例. 空気抜きシステム B01D35/01; ろ過機と組み合わせられた磁気または静電分離機 B03C）[4, 5] |
| N | 食品加工用 | 36/02 | ・異なる種類のろ過装置の組み合わせ（B01D29/50, B01D33/35 が優先）[4, 5] |
| P | 洗濯機用 | 36/04 | ・ろ過装置と沈でん槽の組み合わせ[4] |
| Q | 食器洗浄機用 | 37/00 | ろ過工程（ガスをろ過するのに特に適した |
| R | 埋設用 | | |
| Z | その他のもの | | |
| 35/04 | ・・・・栓, じゃ口, またはコックろ過機 | | |

プロセス 46/00)
 37/02 ・ろ過体またはろ過材のプレコート;ろ過される液へのろ過助剤の添加
 A 方法
 B ・水溶液・懸濁液
 C ・汚泥等
 D ・プリコート方法
 E ・洗浄・再生
 F 装置
 G ろ過助剤に特徴のあるもの
 H ・珪藻土を主成分とする助剤を使うもの
 Z その他のもの
 37/04 ・ろ過操作の制御
 37/06 ・ろ過操作による液体中の固体粒子の懸濁物の濃縮処理 (ろ過装置またはろ過体の構造 23/00-36/00)
 37/08 ・・静止ろ過体を用いるもの
 39/00 液体またはガス状流体用ろ過材
 A 素材
 B 枠, 製法
 C 捕捉剤, 難燃剤
 D 粒状と定形の組み合わせ
 Z その他のもの
 39/02 ・不定形ろ過材, 例. 不定形繊維
 39/04 ・・有機物, 例. セルロース, 綿
 39/06 ・・無機物, 例. アスベスト繊維, ガラス玉または繊維
 39/08 ・ろ布, すなわち織られた, 編まれたまたは織交ぜられたもの (金属製 B01D39/10)
 A 制電濾布
 Z その他のもの
 39/10 ・実質的に金属製のろ過スクリーン
 39/12 ・・金網製のもの;針金を編んだもの;メタルラス類
 39/14 ・その他の自己支持ろ過材
 A 無機, 有機混合
 B 吸着剤, 触媒など于一体
 K ・吸着剤
 L ・・特定物質
 M ・・・活性炭
 N ・・・粒状活性炭
 P ・吸収剤
 G ・殺菌剤 [(含む防カビ剤), ただし, 殺菌剤自体は A01N]
 C 積層
 D 巻き付け
 E 静電的
 J 磁氣的
 Z その他のもの
 39/16 ・・有機物製のもの, 例. 合成繊維
 A 不織布, ウェブ, マット
 B スポンジ
 C 膜 [孔径 2μ 以下のものは, B01D71/00]

D 巻き付け
 E 積層
 H 多孔質焼結樹脂
 Z その他のもの
 39/18 ・・・セルロースまたはその誘導体
 39/20 ・・無機物製のもの, 例. アスベスト紙または針金を織ったものではない金属性ろ過材
 A 金属性 [含む金属メッキ被膜]
 B ガラス製
 C カーボン製
 D セラミックス製
 Z その他のもの
 41/00 液体またはガス状流体用ろ過装置外でのろ過材またはろ過体の再生
 41/02 ・不定形ろ過材の再生
 41/04 ・固定自己支持ろ過材の再生

 43/00 沈でんまたはろ過とは別の方法による液体からの固定粒子または固体からの液体の分離 (浮遊選別法 B03D1/00; 固体材料または物体の乾燥 F26B)
 A 衝突を利用するもの
 Z その他のもの

ガスまたは蒸気からの分散粒子の分離

45/00 重力, 慣性力または遠心力による, ガスまたは蒸気からの分散粒子の分離
 45/02 ・重力によるもの
 45/04 ・慣性力によるもの (B01D45/12 が優先)
 45/06 ・・流動方向の反転によるもの
 101 ・・・ルーバーによるもの
 45/08 ・・邪魔板への衝突によるもの
 B 波状板によるもの [例: シェブロンペーン]
 Z その他のもの
 45/10 ・・・湿式法によるもの
 45/12 ・遠心力によるもの (遠心分離機 B04B; サイクロン B04C)
 45/14 ・・回転盤, 回転皿, 回転ドラムまたは回転ブラシによって生ずるもの
 45/16 ・・気体流の彎曲経路によって生ずるもの
 45/18 ・清掃装置
 46/00 ガスまたは蒸気から分散粒子を分離するために特に改良されろ過機またはろ過工程 (ろ過体 B01D24/00-B01D35/00; ろ過材 B01D39/00; ろ過装置外でのそれらの再生 B01D41/00) [2022. 01]
 C フィルターユニットの取り付けであって, フィルターの形状が特定されていないも

| | | | |
|--------|--|-------|---|
| | の | | |
| D | 特殊なろ過方法 | 46/32 | ・ろ過材がろ過操作中に運動するもの |
| E | 特にミスト分離に適したものであって、フィルターが特定されていないもの | 46/34 | ・・・・水平運動でないもの、例. シュートを 用いるもの |
| F | ろ過装置、全体の配置 | 46/36 | ・・・・水平な層、例. 回転板、回転ドラムまたは コンベヤベルト上でのもの、として運 動するもの |
| Z | その他のもの | 46/38 | ・・・・流動層ベッドとして運動するもの |
| 301 | ・他に分類されないフィルター形状を有する 粒子分離機 | 46/40 | ・エッジフィルターを用いる、すなわち隣接 した非通気性表面を用いる粒子分離機、 例. 集塵機 |
| 302 | ・・・・ハニカム状のもの | 46/42 | ・付属装置またはその操作 |
| 46/02 | ・可撓性材料で製作された中空フィルター を有する粒子分離機、例. 集塵機 | A | 目詰り検知、表示手段、例. リークディテク ター、ろ布破れ検知、安全装置 |
| A | フィルターの取付 | Z | その他のもの、例. キャスター |
| B | コーティング剤添加 | 46/44 | ・ろ過操作の制御 |
| Z | その他のもの | 46/46 | ・・・・自動化 |
| 46/04 | ・・・・フィルターの清掃 | 46/48 | ・ろ過装置の清掃以外のダストの除去 |
| 101 | ・・・・振動によるもの | 46/50 | ・静電気を除去する手段 |
| 102 | ・・・・機械的振動 | 46/52 | ・折りたたまれた材料を包含するフィルタ ーを用いる粒子分離機、例. 集塵機 |
| 103 | ・・・・逆洗によるもの | A | フィルターユニット、例. フィルターと枠、 スパーサー、の構成 |
| 104 | ・・・・パルス形式のもの | B | フィルターユニットの取付、例. クリーンル ーム用の取付 |
| 46/06 | ・表面を平滑に保つ手段を有するもの | C | 円筒状のもの |
| 46/08 | ・・・・星型を形成する表面 | Z | その他のもの |
| 46/10 | ・平面を有するろ過板、ろ過シートまたはろ 過パッドを用いる粒子分離機、例. 集塵機 [2006. 01] | 46/54 | ・極微細ろ過シートまたはダイヤフラムを 用いる粒子分離機、例. 集塵機 |
| A | フィルターユニット、例. フィルターと枠、 の構成 | 46/56 | ・相互の配置に特徴のある多数のろ過体を 有するもの (B01D46/12 が優先) [2022. 01] |
| B | フィルターユニットの取付 | 46/58 | ・・・・並列に接続されたもの [2022. 01] |
| D | フィルターが回転するもの | 46/60 | ・・・・同心または同軸に配列されたもの [2022. 01] |
| E | 特にミスト除去に適したもの | 46/62 | ・・・・直列に接続されたもの [2022. 01] |
| Z | その他のもの | 46/64 | ・・・・同心または同軸に配列されたもの [2022. 01] |
| 46/12 | ・・・・複数配置したもの [2022. 01] | 46/66 | ・ろ過装置内でのろ過材またはろ過体の再 生 (B01D46/04, B01D46/48 が 優 先) [2022. 01] |
| 46/121 | ・・・・V 字形に配置したもの [2022. 01] | 46/68 | ・ろ過体に対する移動を含みケーキ側へ 作用する手段によるもの [2022. 01] |
| 46/14 | ・・・・星型に配置したもの | | |
| 46/16 | ・・・・非ろ過コンベヤ上に配置したもの | | |
| 46/18 | ・ろ過ベルトを用いる粒子分離機、例. 集塵 機 | | |
| A | エンドレス状フィルター | | |
| B | 巻取り式フィルター | | |
| Z | その他のもの | | |
| 46/20 | ・・・・ドラムとベルトを連結したもの | | |
| 46/22 | ・・・・ろ過操作中ベルトが移動するもの | | |
| 46/24 | ・堅い中空ろ過体を用いる粒子分離機、例. 集塵機 | | |
| A | 特にミスト除去に適したもの | | |
| B | フィルター又はフィルターユニットの取付 | | |
| Z | その他のもの | | |
| 46/26 | ・・・・回転式のもの | | |
| 46/28 | ・ろ過ブラシを用いる粒子分離機、例. 集塵 機 | | |
| 46/30 | ・不定形ろ過材を用いる粒子分離機、例. 集 塵機 | | |
| B | 繊維充填材を用いるもの、例. 金属細線 | | |
| Z | その他のもの | | |

注

・グループ B01D46/68-B01D46/78 は乾式法に関するもののみ
[2022. 01]

| | |
|--------|---|
| 46/681 | ・・・・かき落とし機、ブラシまたは類似物によ るもの [2022. 01] |
| 46/682 | ・・・・ノズルによるもの [2022. 01] |
| 46/69 | ・ろ過体に対して移動せずにケーキ側へ 作用する手段によるもの、例. 固定された ノズル [2022. 01] |
| 46/70 | ・ろ過体表面上に対向して作動するもの、 例. ろ過体の非ケーキ側へのフラッシング によるもの [2022. 01] |

B 0 1 D

- 46/71 ・ ・ ・加圧ガス, 例. パルス空気, を有するもの[2022. 01]
- 46/72 ・ ・ ・逆洗用のアーム, シューまたはノズルを有するもの[2022. 01]
- 46/74 ・ ・ ・ろ過体の運動によって生ずる力によるもの[2022. 01]
- 46/76 ・ ・ ・振動を含むもの[2022. 01]
- 46/762 ・ ・ ・ ・音波または超音波を含むもの[2022. 01]
- 46/78 ・ ・ ・遠心力を含むもの[2022. 01]
- 46/79 ・ ・ ・液体プロセスによるもの[2022. 01]
- 46/80 ・ ・ ・保持された粒子を除去するための化学的方法, 例. 燃焼によるもの[2022. 01]
- 46/82 ・ ・ ・触媒を用いるもの[2022. 01]
- 46/84 ・ ・ ・加熱のみによるもの[2022. 01]
- 46/86 ・ ・ ・吸引の中断によりろ過ケーキが重力落下することによるろ過表面の清浄再生[2022. 01]
- 46/88 ・ ・ ・ろ過体の置換[2022. 01]
- 46/90 ・ ・ ・多数ユニットからなるろ過機の 1 つ以上のユニットの運転を休止させる装置, 例. 再生または保守のためのもの[2022. 01]
- 47/00 分離剤として液体を用いる, ガス, 空気あるいは蒸気からの分散粒子の分離 (B01D45/10が優先; 分留塔またはその部分構造 B01D3/16)
 - A 洗浄液及びその回収
 - B サイクロンスクラバー
 - C 吸入噴霧
 - D 液膜中を通過させるもの〔噴霧手段を持つもの 47/06〕
 - Z その他のもの
- 47/02 ・ ・ ・液浴上または中にガス, 空気または蒸気を通すことによるもの
 - A 液面吹付け
 - B 液中噴出
 - Z その他のもの
- 47/04 ・ ・ ・あわの中にガス, 空気または蒸気を通すことによるもの
- 47/05 ・ ・ ・分離剤の凝縮によるもの[3]
- 47/06 ・ ・ ・スプレークリーニング
 - A 障害物〔EX・フィルター〕との組合わせ
 - B ・回転体との組合わせ
 - Z その他のもの
- 47/08 ・ ・ ・回転ノズルを有するもの
- 47/10 ・ ・ ・ベンチュリースクラバー
 - A スケール防止手段
 - B 注水部
 - Z その他のもの
- 101 ・ ・ ・断面積可変スロット部をもつもの
- 47/12 ・ ・ ・複数の異なる洗浄部を有する塔 (B01D47/14 が優先) [3]
- 47/14 ・ ・ ・充填塔[3]
- 47/16 ・ ・ ・回転ノズル以外の, 洗浄液噴霧用の回転手段を有する装置
- 47/18 ・ ・ ・水平配置軸を有するもの
- 49/00 その他の方法によるガス, 空気または蒸気からの分散粒子の分離
- 49/02 ・ ・ ・熱斥力によるもの
- 50/00 ガスまたは蒸気から粒子を分離する方法または装置の組合せ[2022. 01]
 - 501 ・分離方法, 装置
 - 501 Aろ過分離
 - 501 B・中空ろ過体
 - 501 C・ ・バグフィルタ
 - 501 D・不定形ろ過材
 - 501 E・折りたたみフィルタ
 - 501 F重力, 慣性力分離
 - 501 G・衝突板
 - 501 H遠心力分離
 - 501 J・サイクロン
 - 501 K湿式集塵
 - 501 L・スプレー
 - 501 M・ベンチュリースクラバ
 - 501 N・液面上吹付け
 - 501 P・液中吹込み
 - 501 Zその他
 - 502 ・被処理ガス
 - 502 Aミスト含有
 - 502 B成分が特定されたもの (除くミスト)
 - 502 Zその他
- 50/10 ・ ・ ・グループ B01D45/00, B01D46/00 および B01D47/00 に包含される装置の組合せ[2022. 01]
- 50/20 ・ ・ ・グループ B01D45/00 および B01D46/00 に包含される装置の組合せ[2022. 01]
- 50/40 ・ ・ ・グループ B01D45/00 および B01D47/00 に包含される装置の組合せ[2022. 01]
- 50/60 ・ ・ ・グループ B01D46/00 および B01D47/00 に包含される装置の組合せ[2022. 01]
- 51/00 分散粒子が浄化されるガス又は蒸気への補助的前処理[6]
 - A 音波, 超音波
 - B 冷却, 加熱
 - C 磁場, 電場
 - D エネルギー線 (紫外線, 電子線等)
 - E 流路中の障害物
 - F ・網状体, 多孔体
 - Z その他
- 51/02 ・ ・ ・粒子の粗大化, 例. 凝集によるもの
- 51/04 ・ ・ ・シーディングによるもの, 例. 粒子添加によるもの
 - A 液滴, 蒸気添加
 - B ・スプレによるもの
 - Z その他
- 51/06 ・ ・ ・ガスまたは蒸気の圧力を変化させるもの

| | | | |
|--|--|-------|--|
| | の | 120 | ・・・回転式 |
| A | 断熱膨張 | 130 | ・・・充填塔式 |
| Z | その他 | 140 | ・・・棚段式 |
| 51/08 | ・・・音波または超音波によるもの | 150 | ・・・スプレー式 |
| 51/10 | ・浄化されるガスの調整 | 160 | ・・・ぬれ壁式 |
| A | 温度調節 | 170 | ・・・静止型混合器を用いるもの, 例. ベンチュリースクラバー, ジェットスクラバーまたはエゼクター |
| B | 調湿 | 53/22 | ・拡散によるもの |
| Z | その他 | 53/24 | ・遠心力によるもの (遠心分離機 B04B; サイクロン B04C) |
| <hr/> | | | |
| 53/00 | ガスまたは蒸気の分離; ガスからの揮発性溶剤蒸気の回収; 廃ガスの化学的または生物学的浄化, 例. エンジン排気ガス, 煙, 煙霧, 煙道ガスまたはエアロゾル (凝縮による揮発性溶剤の回収 B01D5/00; 昇華 B01D7/00; コールドトラップ, コールドバップル B01D8/00; 液化による難凝縮性ガスまたは空気分離 F25J3/00) [3, 5] | 53/26 | ・ガスまたは蒸気の乾燥 |
| 注 | | 100 | ・冷却または凝縮によるもの |
| グループ B01D53/34 はグループ B01D53/02-B01D53/32 に優先する | | 200 | ・吸着または乾式吸収によるもの |
| 53/02 | ・吸着によるもの, 例. 分取ガスクロマトグラフィー | 210 | ・・・動力を有さない小型吸湿具, 例. 吸湿材を充填した簡易除湿器, 食品包装用乾燥剤または実験用デシケータ, をもちいるもの |
| 100 | ・吸着剤の充填または排出方法に特徴のあるもの | 220 | ・・・回転式 |
| 53/04 | ・吸着剤を静置したもの | 230 | ・・・固定式 |
| 110 | ・・・吸着剤を配置するための構造, 例. エレメント, カートリッジ, 容器, キャニスタまたは塔槽, に特徴のあるもの | 231 | ・・・多床切換え式 |
| 111 | ・・・燃料タンクからの蒸発防止装置に用いられるもの | 300 | ・湿式吸収によるもの |
| 220 | ・・・吸着剤を直接加熱して再生するもの | 53/28 | ・乾燥剤として使用する材料の選択 |
| 230 | ・・・吸着剤に再生ガスを流すもの | 53/30 | ・ガス分析装置による制御 |
| 240 | ・・・吸着剤を水洗して再生するもの | 53/32 | ・グループ B01D61/00 に分類されるもの以外の電氣的効果によるもの [5] |
| 600 | ・・・低温で吸着を行うもの | 53/34 | ・廃ガスの化学的または生物学的浄化 [3, 6] |
| 53/047 | ・・・圧力スウィング吸着 [6] | 53/38 | ・構造が特定されない成分の除去 [6] |
| 53/053 | ・・・貯蔵容器または緩衝容器を有するもの [6] | 100 | ・・・臭気物質 |
| 53/06 | ・吸着剤を移動させるもの | 110 | ・・・吸着または乾式吸収によるもの; 土壌による脱臭 (B01D53/38 130, B01D53/38 140, B01D53/38 150 が優先) |
| 100 | ・・・回転式 | 111 | ・・・簡易脱臭具, 例. 脱臭シートまたは脱臭エレメント, を用いるもの |
| 53/08 | ・・・移動床法によるもの | 120 | ・・・湿式吸収によるもの; 活性汚泥による脱臭 (B01D53/38 130, B01D53/38 140, B01D53/38 150 が優先) |
| 53/10 | ・・・吸着剤を分散状態にしたもの | 130 | ・・・オゾンを用いるもの |
| 53/12 | ・・・流動層技術によるもの | 140 | ・・・凝縮によるもの |
| 53/14 | ・吸収によるもの | 150 | ・・・燃焼または熱分解処理を併用するもの |
| 100 | ・乾式吸収 | 53/40 | ・・・酸性成分 (B01D53/44 が優先) [6] |
| 200 | ・湿式吸収 | 200 | ・・・湿式吸収によるもの |
| 210 | ・・・液体吸収剤の選択 | 210 | ・・・無機化合物含有吸収液を用いるもの |
| 220 | ・・・液体吸収剤の活性化または再生 | 220 | ・・・有機化合物含有吸収液を用いるもの |
| 311 | ・脱酸素 | 53/42 | ・・・塩基性成分 (B01D53/44 が優先) [6] |
| 53/18 | ・吸収ユニット; そのための液分配器 (B01D3/16, B01D3/26, B01D3/30 が優先) | 53/44 | ・・・有機成分 [6] |
| 110 | ・・・液中吹込式 | 100 | ・・・有機溶剤の除去 |
| | | 110 | ・・・吸着または乾式吸収によるもの (B01D53/44 130, B01D53/44 140 が優先) |

B O 1 D

| | | | |
|-------|--|-------|---|
| 120 | ・ ・ ・ ・ ・ 湿式吸収によるもの (B01D53/44 130, B01D53/44 140 が優先) | 53/58 | ・ ・ ・ ・ ・ アンモニア [6] |
| 130 | ・ ・ ・ ・ ・ 凝縮によるもの | 53/60 | ・ ・ ・ 硫黄酸化物と窒素酸化物の同時除去 [6] |
| 140 | ・ ・ ・ ・ ・ 燃焼または熱分解処理を併用するもの | 200 | ・ ・ ・ ・ 湿式吸収によるもの |
| 53/46 | ・ ・ 構造が特定される成分の除去 [6] | 300 | ・ ・ ・ ・ 電氣的処理; 電磁波による処理; 音波による処理 |
| 53/48 | ・ ・ ・ 硫黄化合物 [6] | 53/62 | ・ ・ ・ 炭素酸化物 [6] |
| 100 | ・ ・ ・ ・ 有機硫黄化合物 | 100 | ・ ・ ・ ・ ・ 一酸化炭素 |
| 53/50 | ・ ・ ・ ・ 硫黄酸化物 (B01D53/60 が優先) [6] | 53/64 | ・ ・ ・ 重金属またはその化合物, 例. 水銀 [6] |
| 100 | ・ ・ ・ ・ ・ 吸着または乾式吸収によるもの | 100 | ・ ・ ・ ・ 水銀 |
| 110 | ・ ・ ・ ・ ・ 活性炭または炭素質吸着剤を用いるもの | 53/66 | ・ ・ ・ オゾン [6] |
| 200 | ・ ・ ・ ・ ・ 湿式吸収によるもの | 53/68 | ・ ・ ・ ハロゲンまたはハロゲン化合物 [6] |
| 220 | ・ ・ ・ ・ ・ アンモニアまたはアンモニウム化合物を吸収剤として用いるもの | 100 | ・ ・ ・ ・ 塩素または無機塩素化合物の除去 (B01D53/70, B01D53/68 200 が優先) |
| 230 | ・ ・ ・ ・ ・ アルカリ金属化合物を吸収剤として用いるもの | 120 | ・ ・ ・ ・ ・ 湿式吸収によるもの |
| 240 | ・ ・ ・ ・ ・ アルカリ土類金属化合物を吸収剤として用いるもの | 200 | ・ ・ ・ ・ 弗素, 臭素, 沃素, 無機弗素化合物, 無機臭素化合物または無機沃素化合物の除去 (B01D53/70 が優先) |
| 245 | ・ ・ ・ ・ ・ カルシウム化合物を吸収剤として用いるもの, 例. 石灰-石膏法 | 220 | ・ ・ ・ ・ ・ 湿式吸収によるもの |
| 250 | ・ ・ ・ ・ ・ アルミニウム化合物を吸収剤として用いるもの | 53/70 | ・ ・ ・ ・ 有機ハロゲン化合物 [6] |
| 260 | ・ ・ ・ ・ ・ 有機化合物含有吸収液を用いるもの | 200 | ・ ・ ・ ・ ・ 湿式吸収によるもの |
| 270 | ・ ・ ・ ・ ・ 水または海水を吸収液とするもの | 53/72 | ・ ・ ・ グループ B01D53/48-B01D53/70 に分類されない有機化合物, 例. 炭化水素 [6] |
| 290 | ・ ・ ・ ・ ・ 吸収排液の処理に特徴のあるもの | 200 | ・ ・ ・ ・ 湿式吸収によるもの |
| 291 | ・ ・ ・ ・ ・ 複分解法, 例. 亜硫酸-石膏法または亜硫酸-石膏法 | 53/73 | ・ ・ 除去成分の後処理 [6] |
| 53/52 | ・ ・ ・ ・ 硫化水素 [6] | 500 | ・ ・ ・ 触媒による処理の後処理 |
| 200 | ・ ・ ・ ・ ・ 湿式吸収によるもの | 53/74 | ・ ・ 廃ガス浄化のための一般的方法; そのため特に適合した装置または器具 (B01D53/92 が優先) [6] |
| 210 | ・ ・ ・ ・ ・ 無機化合物含有吸収液を用いるもの | 53/75 | ・ ・ ・ 多段階方法 [6] |
| 220 | ・ ・ ・ ・ ・ 有機化合物含有吸収液を用いるもの | 53/76 | ・ ・ ・ 気相法, 例. エアロゾルを用いるもの [6] |
| 53/54 | ・ ・ ・ 窒素化合物 [6] | 53/77 | ・ ・ ・ 液相方法 [6] |
| 53/56 | ・ ・ ・ ・ 窒素酸化物 (B01D53/60 が優先) [6] | 53/78 | ・ ・ ・ ・ 気液接触によるもの [6] |
| 100 | ・ ・ ・ ・ ・ 吸着によるもの | 100 | ・ ・ ・ ・ ・ 白煙防止 |
| 200 | ・ ・ ・ ・ ・ 湿式吸収によるもの | 53/79 | ・ ・ ・ ・ 反応物質注入 [6] |
| 210 | ・ ・ ・ ・ ・ 吸収液中で錯塩を形成させることによるもの | 53/80 | ・ ・ ・ 半固相法, すなわち, スラリーの使用によるもの [6] |
| 220 | ・ ・ ・ ・ ・ 吸収液中で酸化することによるもの | 53/81 | ・ ・ ・ 固相法 [6] |
| 230 | ・ ・ ・ ・ ・ 吸収液中で還元することによるもの | 53/82 | ・ ・ ・ ・ 固定反応物質によるもの [6] |
| 300 | ・ ・ ・ ・ ・ 無触媒還元によるもの | 53/83 | ・ ・ ・ ・ 移動反応物質によるもの [6] |
| 310 | ・ ・ ・ ・ ・ 還元剤注入量の制御 | 53/84 | ・ ・ ・ 生物学的方法 [6] |
| 400 | ・ ・ ・ ・ ・ 電氣的処理; 電磁波による処理; 音波による処理 | 53/85 | ・ ・ ・ ・ 気固接触によるもの [6] |
| | | 53/86 | ・ ・ ・ 触媒による方法 [6] |
| | | 100 | ・ ・ ・ 構造が特定されない成分の除去 |
| | | 110 | ・ ・ ・ ・ ・ 臭気物質 |
| | | 150 | ・ ・ ・ ・ ・ 有機成分 |
| | | 200 | ・ ・ ・ 構造が特定される成分の除去 |
| | | 210 | ・ ・ ・ ・ ・ 硫黄化合物 |
| | | 212 | ・ ・ ・ ・ ・ 硫黄酸化物 (B01D53/86 230 が優先) |
| | | 217 | ・ ・ ・ ・ ・ 硫化水素 |
| | | 220 | ・ ・ ・ ・ ・ 窒素化合物 |

- 222 窒素酸化物 (B01D53/86 230 が優先)
- 223 過剰酸素または酸化性物質共存下での還元
- 228 アンモニア
- 230 硫黄酸化物と窒素酸化物の同時除去
- 241 未燃カーボン
- 243 炭素酸化物
- 245 一酸化炭素
- 250 重金属またはその化合物, 例. 水銀
- 260 オゾン
- 270 ハロゲン化物
- 275 有機ハロゲン化合物
- 280 B01D53/86 210-B01D53/86 275 に分類されない有機化合物の除去
- 53/88 触媒の取扱いまたは取付け[6]
- 53/90 反応物質注入[6]
- 53/92 エンジン排気ガスに適用されるもの(排気ガスを浄化するか, または他の処理をする手段を有する排気装置 F01N3/00) [6]
- 100 構造が特定されない成分の除去
- 110 臭気物質
- 111 吸着または乾式吸収によるもの; 土壌による脱臭 (B01D53/92 115 が優先)
- 113 湿式吸収によるもの; 活性汚泥による脱臭 (B01D53/92 115 が優先)
- 115 燃焼または熱分解処理を併用するもの
- 120 酸性成分 (B01D53/92 140 が優先)
- 130 塩基性成分 (B01D53/92 140 が優先)
- 150 有機成分
- 200 構造が特定される成分の除去
- 210 硫黄化合物
- 212 硫黄酸化物 (B01D53/92 230 が優先)
- 213 吸着または乾式吸収によるもの
- 215 湿式吸収によるもの
- 218 硫化水素
- 220 窒素化合物
- 222 窒素酸化物 (B01D53/92 230 が優先)
- 223 吸着によるもの
- 224 湿式吸収によるもの
- 225 無触媒還元によるもの
- 226 還元剤注入量の制御
- 227 電氣的処理; 電磁波による処理; 音波による処理
- 228 アンモニア
- 230 硫黄酸化物と窒素酸化物の同時除去
- 235 電氣的処理; 電磁波による処理; 音波による処理
- 240 炭素酸化物
- 242 一酸化炭素
- 250 重金属またはその化合物, 例. 水銀
- 260 オゾン
- 270 ハロゲンまたはハロゲン化合物
- 275 有機ハロゲン化合物
- 280 グループ B01D53/92 210-B01D53/92 275 に分類されない有機化合物, 例. 炭化水素
- 300 エンジン排気ガス浄化のための一般的方法; そのため特に適合した装置または器具
- 310 多段階方法
- 320 気相法, 例. エアロゾルを用いるもの
- 330 液相方法
- 331 気液接触によるもの
- 335 反応物質注入
- 340 半固相法, すなわち, スラリーの使用によるもの
- 350 固相法
- 352 固定反応物質によるもの
- 354 移動反応物質によるもの
- 360 生物学的方法
- 370 気固接触によるもの
- 53/94 触媒による方法によるもの[6]
- 100 構造が特定されない成分の除去
- 110 臭気
- 150 有機成分
- 200 構造が特定される成分の除去
- 210 硫黄化合物
- 212 硫黄酸化物 (B01D53/94 230 が優先)
- 217 硫化水素
- 220 窒素化合物
- 222 窒素酸化物 (B01D53/94 230 が優先)
- 223 過剰酸素または酸化性物質共存下での還元
- 228 アンモニア
- 230 硫黄酸化物と窒素酸化物の同時除去
- 241 未燃カーボン
- 243 炭素酸化物
- 245 一酸化炭素
- 250 重金属またはその化合物, 例. 水銀
- 260 オゾン
- 270 ハロゲン化物
- 275 有機ハロゲン化合物

| | |
|-------|--|
| 280 | ・ ・ ・ ・ B01D53/94 200-B01D53/94 275 |
| | に分類されない有機化合物の除去 |
| 300 | ・ ・ ・ ・ 触媒の取扱いまたは取付け |
| 400 | ・ ・ ・ ・ 反応物質注入 |
| 53/96 | ・ ・ 反応物質の再生, 再活性化または再生利用[6] |
| 500 | ・ ・ ・ 触媒の再生または再活性化 |
| 57/00 | 固体の分離以外であって, 単一の他のグループまたはサブクラス, 例. B03C, に完全には包含されない分離 |
| 57/02 | ・ 電気泳動によるもの[3, 5] |
| 59/00 | 同一化学元素の異なる同位体の分離 |
| 101 | ・ 光電離を利用するもの |
| 59/02 | ・ 相変化による分離 |
| 59/04 | ・ ・ 蒸留によるもの |
| 59/06 | ・ ・ 分別溶融によるもの; ゾーンメルティングによるもの |
| 59/08 | ・ ・ 分別晶析によるもの, 沈殿によるもの, ゾーンフリージングによるもの |
| 59/10 | ・ 拡散による分離 |
| 59/12 | ・ ・ 拡散膜を通しての拡散によるもの |
| 59/14 | ・ ・ ・ 拡散膜の構造 |
| 59/16 | ・ ・ 熱拡散によるもの |
| 59/18 | ・ ・ ジェット分離によるもの |
| 59/20 | ・ 遠心力による分離 |
| A | 回転胴に特徴のあるもの |
| B | カスケードに関するもの |
| C | ノズル法 |
| D | ヘリコン法 |
| Z | その他のもの |
| 59/22 | ・ 抽出による分離 |
| 59/24 | ・ ・ 溶剤抽出によるもの |
| 59/26 | ・ ・ 収着によるもの, すなわち吸収, 吸着, 過吸着 |
| 59/28 | ・ 化学的置換による分離 |
| 59/30 | ・ ・ イオン交換によるもの |
| 59/32 | ・ ・ 流体間の置換によるもの |
| 59/33 | ・ ・ ・ 二温度交換を含むもの[2] |
| 59/34 | ・ 光化学方法による分離 |
| A | レーザー光で励起・イオン化するもの |
| B | ・ レーザーに特徴のあるもの (波長, 装置等) |
| C | ・ ノズルを用いるもの |
| D | ・ ・ レーザー照射部が円弧状に並んだもの |
| E | ・ 励起・イオン化物質の進行方向を変えるもの (下優先) |
| F | ・ 励起・イオン化物質を電極板で回収するもの |
| G | 作業物質 |
| Z | その他 |
| 59/36 | ・ 生物学的方法による分離 |
| 59/38 | ・ 電気化学的方法による分離 |
| 59/40 | ・ ・ 電気分解によるもの |

| | |
|-------|---|
| 59/42 | ・ ・ 電気移動によるもの; 電気泳動によるもの |
| 59/44 | ・ マススペクトログラフィーによる分離 (粒子分光器または粒子分離管 H01J49/00) |
| 59/46 | ・ ・ 静電場のみを用いるもの |
| 59/48 | ・ ・ 静電場と磁場を用いるもの |
| 59/50 | ・ グ ル ー プ B01D59/02, B01D59/10, B01D59/20, B01D59/22, B01D59/28, B01D59/34, B01D59/36, B01D59/38, B01D59/44 から選ばれる異なるグループに包含される二以上の工程を含む分離 |

半透膜を用いる分離工程, 例. 透析, 浸透または限外ろ過; そのために特に適用される装置; 半透膜またはそれらの製造 [5]

注

グループ B01D61/00-B01D71/00 においては, ラストプレイス優先ルールが適用される, すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り, 最後の適切な箇所に分類する。[5]

| | |
|-------|---|
| 61/00 | 半透膜を用いる分離工程, 例. 透析, 浸透または限外ろ過; そのために特に適用される装置, 付属品または補助操作 (拡散によるガスまたは蒸気) の分離 B01D53/22) [5] |
| 500 | ・ 浸透 |
| 61/02 | ・ 逆浸透; 超ろ過[5] |
| 500 | ・ ・ 被処理成分に特徴を有するもの |
| 510 | ・ ・ 加圧方法 |
| 61/04 | ・ ・ 供給物の前処理[5] |
| 61/06 | ・ ・ エネルギー回収[5] |
| 61/08 | ・ ・ そのための装置[5] |
| 61/10 | ・ ・ 付属品; 補助操作[5] |
| 61/12 | ・ ・ 制御または調節[5] |
| 61/14 | ・ 限外ろ過; 精密ろ過[5] |
| 500 | ・ ・ 被処理成分に特徴を有するもの |
| 510 | ・ ・ 加圧方法 |
| 61/16 | ・ ・ 供給物の前処理[5] |
| 61/18 | ・ ・ そのための装置[5] |
| 61/20 | ・ ・ 付属品; 補助操作[5] |
| 61/22 | ・ ・ 制御または調節[5] |
| 61/24 | ・ 透析[5] |
| 61/26 | ・ ・ 透析液流, 例. 調製, 再生[5] |
| 61/28 | ・ ・ そのための装置[5] |
| 61/30 | ・ ・ 付属品; 補助操作[5] |
| 61/32 | ・ ・ 制御または調節[5] |
| 61/34 | ・ ・ ・ 透析中の限外ろ過量の測定[5] |
| 61/36 | ・ パーバレーション (浸透気化); 膜蒸留; 液透過[5] |
| 61/38 | ・ 液体膜による分離[5] |
| 61/40 | ・ ・ エマルジョン型膜を用いるもの[5] |
| 61/42 | ・ 電気透析; 電気浸透[5] |

| | |
|-------|--|
| 61/44 | ・ ・ イオン選択電気透析[5] |
| 500 | ・ ・ ・ 被処理物が限定されているもの |
| 510 | ・ ・ ・ 生成物に特徴のあるもの |
| 520 | ・ ・ ・ 他の処理方法との組み合わせ |
| 61/46 | ・ ・ ・ そのための装置[5] |
| 500 | ・ ・ ・ ・ 膜に特徴のあるもの |
| 510 | ・ ・ ・ ・ 電極に特徴のあるもの |
| 61/48 | ・ ・ ・ ・ イオン交換物質で満たされた 1 つまたはそれ以上の区画を有するもの[5] |
| 61/50 | ・ ・ ・ ・ プレートアンドフレーム型の積層体[5] |
| 61/52 | ・ ・ ・ 付属品;補助操作[5] |
| 500 | ・ ・ ・ ・ 前処理に特徴のあるもの |
| 510 | ・ ・ ・ ・ 濃度分極防止 |
| 61/54 | ・ ・ ・ 制御または調節[5] |
| 500 | ・ ・ ・ ・ 液の流し方に特徴のあるもの |
| 510 | ・ ・ ・ ・ 電流の流し方に特徴のあるもの |
| 61/56 | ・ ・ 電気浸透脱水[5] |
| 61/58 | ・ 多段階工程[5] |
| 63/00 | 半透膜を用いる分離工程のための装置一般[5] |
| 500 | ・ シール, 接着 |
| 510 | ・ スペーサ, 支持体 |
| 63/02 | ・ 中空繊維モジュール[5] |
| 63/04 | ・ ・ 多数の中空繊維組立品からなるもの[5] |
| 63/06 | ・ 管状膜モジュール[5] |
| 63/08 | ・ 平膜モジュール[5] |
| 63/10 | ・ スパイラルに巻かれた膜モジュール[5] |
| 63/12 | ・ ・ 多数のスパイラルに巻かれた組立品からなるもの[5] |
| 63/14 | ・ プリッツ型膜モジュール[5] |
| 63/16 | ・ 回転する, 往復運動するまたは振動するモジュール[5] |
| 65/00 | 半透膜を用いる分離工程または装置のための付属品または補助操作[5] |
| 65/02 | ・ 膜の洗浄または滅菌[5] |
| 500 | ・ ・ 膜の殺菌, 滅菌 |
| 510 | ・ ・ 超音波によるもの |
| 520 | ・ ・ ガス送給 |
| 530 | ・ ・ フラツシュ法 |
| 65/04 | ・ ・ 可動体によるもの, 例. 泡玉[5] |
| 500 | ・ ・ ・ 洗浄ボールによるもの |
| 65/06 | ・ ・ 特別の洗浄剤によるもの[5] |
| 65/08 | ・ 膜の汚れまたは濃度分極の防止[5] |
| 500 | ・ ・ 乱流発生体を有するもの |
| 65/10 | ・ 膜または膜装置の試験;漏洩の検出または補修[5] |
| 67/00 | 分離工程または装置のための半透膜の製造に特に適合した工程[5] |
| 500 | ・ 照射による |
| 69/00 | 形状, 構造または特性に特徴のある分離工程または装置のための半透膜;そのために特に適合した製造工程[5] |

500 ・ 液膜, 能動輸送膜

注

(1) このグループにおいては, 下記の用語は以下に示す意味で用いる:

注

— “特性” は機械的, 物理的または化学的性質を包含する。[5]

注

(2) 製造工程は, もし重要と考えられるならば, グループ 67/00 にも分類する。[5]

| | |
|-------|---|
| 69/02 | ・ それらの特性に特徴のあるもの[5] |
| 69/04 | ・ 管状膜[5] |
| 69/06 | ・ 平膜[5] |
| 69/08 | ・ 中空繊維膜 (中空繊維の製造 D01D5/24, D01F1/08) [5] |
| 69/10 | ・ 支持膜;膜支持体[5] |
| 69/12 | ・ 複合膜;超薄膜[5] |
| 69/14 | ・ ダイナミック膜[5] |
| 71/00 | 材料に特徴のある分離工程または装置のための半透膜;そのために特に適合した製造工程[5] |

注

(1) このグループにおいて, もし材料が組成物であるならば, それは最高割合の構成成分によって分類する。この構成成分はラストプレイスルールに従って分類する, グループ B01D61/00 の前の注参照。もし同じ最高割合の構成成分が 2 つ以上あるならば, そのときは, これらの構成成分のそれぞれをラストプレイスルールに従って分類する。[5]

注

(2) 製造工程は, もし重要であるならば, グループ B01D67/00 にも分類する。[5]

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 71/02 | ・ 無機材料[5] |
| 500 | ・ ・ 気体分離用 |
| 71/04 | ・ ・ ガラス[5] |
| 71/06 | ・ 有機材料[5] |
| 71/08 | ・ ・ 多糖類[5] |
| 71/10 | ・ ・ ・ セルロース;セルロース変性物[5] |
| 71/12 | ・ ・ ・ セルロース誘導体[5] |
| 71/14 | ・ ・ ・ ・ 有機酸のエステル[5] |
| 71/16 | ・ ・ ・ ・ ・ 酢酸セルロース[5] |
| 71/18 | ・ ・ ・ ・ ・ 混合エステル, 例. 酢酸, 酪酸セルロース[5] |
| 71/20 | ・ ・ ・ ・ 無機酸のエステル, 例. 硝酸セルロース[5] |
| 71/22 | ・ ・ ・ ・ セルロースエーテル[5] |
| 71/24 | ・ ・ ゴム[5] |

注

・ ・ このグループにおいては, 下記の用語は以下に示す意味で用いる:

注

・ ・ — “ゴム” は以下のものを含む:

注

・ ・ (a) 天然または共役ジェンゴム;

注

B 0 1 D

・ ・ (b) 一般のゴム（特別のゴムに対しては、そのような高分子化合物に分類されるグループを参照） [5]

- 71/26 ・ ・ ポリアルケン [5]
- 71/28 ・ ・ ビニル芳香族化合物の重合体 [5]
- 71/30 ・ ・ ポリアルケニルハロゲン化合物 [5]
- 71/32 ・ ・ ・ ふっ素原子を含むもの [5]
- 71/34 ・ ・ ・ ・ ポリふっ化ビニリデン [5]
- 71/36 ・ ・ ・ ・ ポリテトラフルオルエチレン [5]
- 71/38 ・ ・ ポリアルケニルアルコール; ポリアルケニルエステル; ポリアルケニルエーテル; ポリアルケニルアルデヒド; ポリアルケニルケトン; ポリアルケニルアセタール; ポリアルケニルケタール [5]
- 71/40 ・ ・ 不飽和酸の重合体またはそれらの誘導体, 例. 塩, アミド, イミド, ニトリル, 無水物, エステル [5]
- 71/42 ・ ・ ・ ニトリルの重合体, 例. ポリアクリロニトリル [5]
- 71/44 ・ ・ グループ B01D71/26-B01D71/42 の単一のグループに分類されない, 炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる重合体 [5]
- 71/46 ・ ・ エポキシ樹脂 [5]
- 71/48 ・ ・ ポリエステル [5]
- 71/50 ・ ・ ポリカーボネート [5]
- 71/52 ・ ・ ポリエーテル [5]
- 71/54 ・ ・ ポリ尿素; ポリウレタン [5]
- 71/56 ・ ・ ポリアミド, 例. ポリエステルアミド [5]
- 71/58 ・ ・ 主鎖に酸素または炭素のみを有または有せずに窒素を含有する他の重合体 [5]
- 71/60 ・ ・ ・ ポリアミン [5]
- 71/62 ・ ・ ・ 主鎖に窒素含有複素環を有する重縮合体 [5]
- 71/64 ・ ・ ・ ・ ポリイミド; ポリアミド—イミド; ポリエステル—イミド; ポリアミド酸または類似のポリイアミド先駆物質 [5]
- 71/66 ・ ・ 主鎖に窒素, 酸素または炭素のみを有または有せずに硫黄を含有する重合体 [5]
- 71/68 ・ ・ ・ ポリスルホン; ポリエーテルスルホン [5]
- 71/70 ・ ・ 主鎖に硫黄, 窒素, 酸素または炭素のみを有または有せずにけい素を含有する重合体 [5]
- 500 ・ ・ ・ 気体分離用
- 71/72 ・ ・ グループ B01D71/46-B01D71/70 の単一のグループに分類されない, 炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる高分子化合物 [5]
- 71/74 ・ ・ 天然高分子材料またはそれらの誘導体 (B01D71/08, B01D71/24 が優先) [5]
- 71/76 ・ ・ グループ B01D71/08-B01D71/74 の単一

グループに特に分類されない高分子材料（一般のゴム B01D71/24） [5]

- 71/78 ・ ・ ・ グラフト重合体 [5]
- 71/80 ・ ・ ・ ブロック重合体 [5]
- 71/82 ・ ・ ・ 特定の基の存在に特徴のあるもの, 例. 化学的後処理により導かれるもの [5]
- 500 ・ ・ ・ ・ 解離性官能基を有するもの
- 510 ・ ・ ・ ・ ポリアミン系架橋重合体